

変えていきます。変わります。

広報紙の名称が「市川市廣報」から、現在の「広報いちかわ」になったのは、昭和39年7月からです。硬いイメージを払拭しようと、タイトルの文字である題字を変えたのでしうか。

創刊から20年間は活版印刷による紙面でしたが、ご存じの方にとっては、懐かしいと思う方もいらっしゃるのでは。時代の流れを感じますが、広報紙で伝えたいことは、当時から変わっていません。

それは、市民のみなさんと行政の架け橋となり、相互のコミュニケーションを深めようとする思いを、紙面に

に刷るといふことです。

現在の広報紙は、月に2回、第1と第3の土曜日に発行しています。1週号がカラー刷りの12ページ、3週号は2色刷り8ページです。「せつかくのカラーページなのに文字が多い」と言われることがありましたが、昨年の7月から、1週号の1面では大胆に写真を使い始めました。

その号の編集後記である広報うらがわにも書かれています。市民のみなさんとの架け橋として、これからも手に取って読んでいただけるような紙面づくりを心がけていきます。

☎3341106 広報聴課

◀昭和26年12月15日発行の創刊号



▼昭和39年7月1日号で改称した題字部分



昭和48年1月元旦号(1月1日号)をカラー刷りに



昭和39年7月「広報いちかわ」に改称



昭和53年4月 月2回発行を開始 (1日・15日各4ページ)



昭和47年5月 オフセット印刷に切りかえる



昭和26年12月 「市川市廣報」として創刊 (B4判、以降月1回1日に2ページまたは4ページで発行) 活版印刷・自治会配布



▶今年1月1日発行の広報いちかわ1487号

広報いちかわ

2014年(平成26年) 1月1日 NO.1487

明るい未来へジャンプ

今年2014年を迎え、市のさらなる発展を願い、未来へ向けて羽ばたくのは、今年度成人の市川市のあゆみとともに、みなさんのインタビューなども掲載します。

周年

平成12年4月
DTP(卓上出版)
編集機導入

昭和61年4月
4月15日号から
2色刷りに
編集用にワープロ
3台導入

平成23年4月
現在の題字に
変更

平成15年4月
製作を委託
題字変更

昭和62年4月
広報いちかわの
題字を更新

教えて 今さら聞けない

フェイスブック ツイッター
facebook Twitter

広報いちかわ以外でも、市公式Webサイトを始め、ツイッターやフェイスブックで、市の情報が入手出来ます。市では、平成23年6月からツイッターを開始。フェイスブックは平成24年6月から試験運用を開始し、平成25年2月から本運用を開始して、市民のみなさんはもちろん、世界中に情報配信を行っています。

広報紙は手に取って読んでもらうもの、市公式Webサイトは能動的に探しに行く情報手段でしたが、フェイスブックやツイッターはここが違います。

ポイント1

ツイッターやフェイスブックは、SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)と言い、インターネットを利用して情報を自らも発信することで形成されるネットワークサービスです。

ポイント2

ツイッターやフェイスブックの特徴は、ツイッターの場合はフォロー、フェイスブックの場合は、いいね!というボタンを押すことです。SNSは個人情報登録して使えるサービスです。能動的に見ることは出来ますが、フォローやいいね!をすることで、自動的に自分のページに情報を得ることが出来ます。

※SNSは、自分の意見が自由に投稿できる反面で発信した投稿内容は自分で責任を持ち、プライバシーの管理設定なども十分に注意が必要です。

ポイント3

ツイッターやフェイスブックに登録したら、市川市のページを開いてみましょう。アクセス方法は  囲み部分をクリック。

